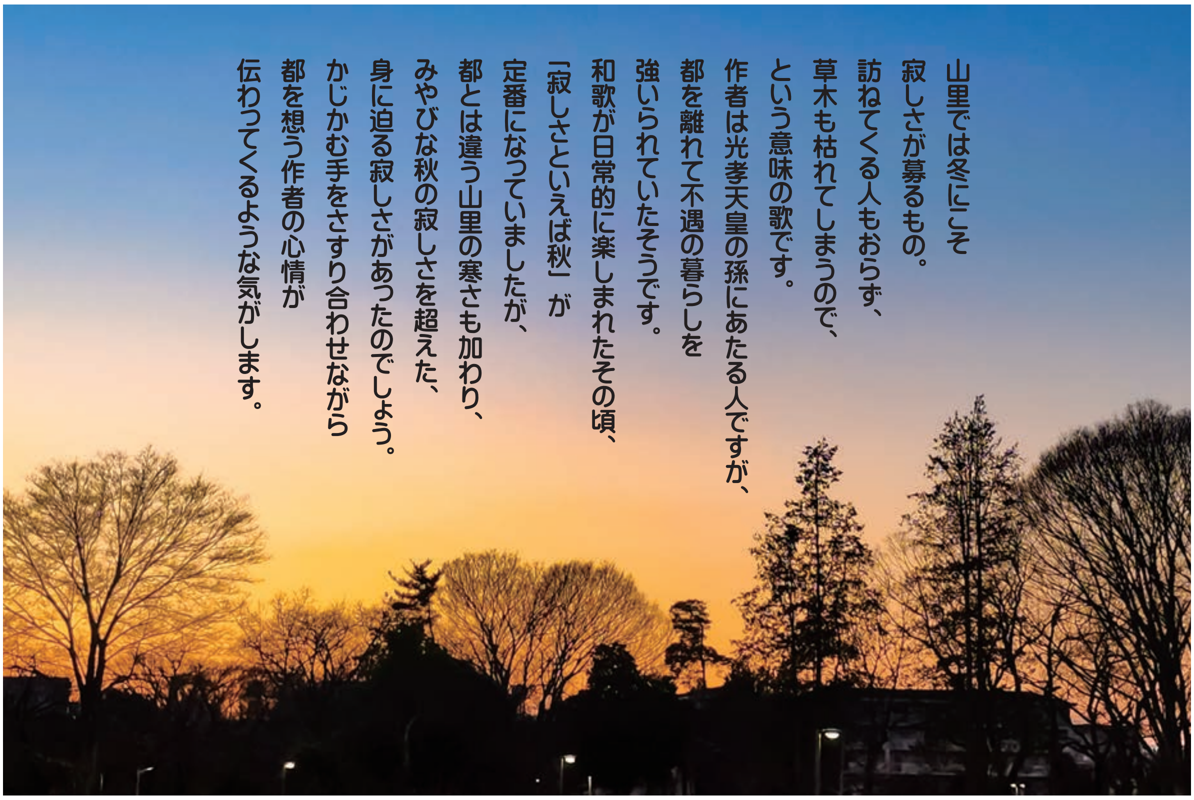
清瀬 MOSHIBANA NOTE
2025 1-2月号

清瀬 もしバナ通信

今日の歌

山里は冬ぞ寂しさ
まさりける
人目も草もかれぬと思へば
（源宗于朝臣・古今和歌集）



山里では冬にこそ寂しさが募るもの。訪ねてくる人もおらず、草木も枯れてしまうので、という意味の歌です。作者は光孝天皇の孫にあたる人ですが、都を離れて不遇の暮らしを強いられていたそうです。和歌が日常的に楽しまれたその頃、「寂しさといえば秋」が定番になっていましたが、都とは違う山里の寒さも加わり、みやびな秋の寂しさを超えた、身に迫る寂しさがあったのでしょう。かじかむ手をさすり合わせながら都を想う作者の心情が伝わってくるような気がします。

もしバナ体験会のご案内

もしバナ体験会は、85年の歴史をもつ救世軍清瀬病院が共催する「もしバナゲーム」の体験イベントです。偶数月の第2水曜日に定期開催しています。

「もしバナゲーム」とは、もしもの時のことを考えてみるゲームです。年齢や性別を問わず、できるだけ多くの人に体験していただきたいと思います。詳しい説明は裏面をお読みください。

次回の開催

日時 2025年2月12日（水）
13時30分～15時30分 [13時開場]

場所 清瀬市竹丘 1-17-9
救世軍清瀬小隊 第2ホール

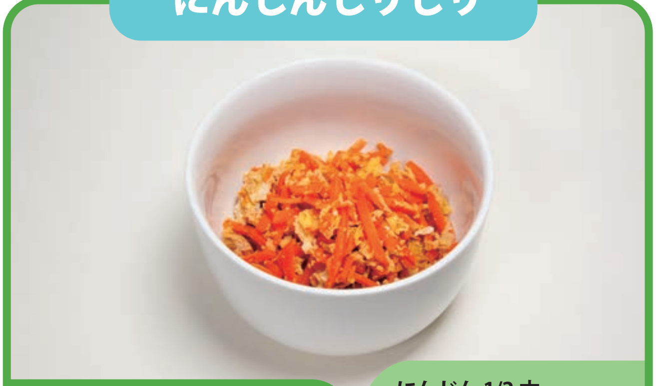
無料

お申し込みは、おハガキまたは下記のメールアドレス宛に、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入して送ってください。

代表 高橋

kiyose-moshibana@jpn.salvationarmy.org

にんじんしりしり



管理栄養士の おすすめレシピ

材料
- にんじん 1/2本
- 卵 1個
- 白だし少々（顆粒だしでもOK）
- ゴマ油少々

①にんじんを千切りにする。
②耐熱容器に卵を割り入れ、白だしとゴマ油を入れて混ぜ、①を入れてふんわりラップをかけ600～700Wの電子レンジで3分加熱する。
③加熱し終わったら取り出して全体をさっくり混ぜると出来上がり。

★たんぱく質をもっと摂りたい方はツナ缶を入れるといいですよ。

KIYOSE MOSHIBANA-KAI

もしバナ KIYOSE

救世軍清瀬病院の思い

救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟だけではなく、広い意味で人生のエンドステージを過ごされる患者様のお世話をしています。患者様一人ひとりを大切にするということは、患者様の価値観、人生観など、一人ひとりの考えを大切にするということです。

ACP（人生会議）と「もしバナゲーム」

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）は人生会議と訳され、もしもの時のために自分の最期を見据え、自分が何を大切にしているのか、考えたり話したりしておこう、というものです。

「もしバナゲーム」は、より具体的にそのことを考える道具として作られたカードゲームです。清瀬もしバナ会では定期的に体験会をおこなっています。ぜひご参加ください。

清瀬もしバナ会の活動

清瀬もしバナ会は、当院ホスピス緩和ケア病棟に携わる看護師、医療相談員、管理栄養士、チャプレンから結成されたチームです。地域の方々に ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について知る機会、共に学び、考える機会を提供することで地域貢献したい、そして当院をもっと身近に感じていただきたい、という願いから始まっています。

The Salvation Army Kiyose Hospital

救世軍清瀬病院

救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟、医療療養病棟、介護医療院の 3 つの部署をもつ病院です。病気のこと、入院・療養のことなど、お困りごとがあれば、当院の医療相談員がご相談に応じます。

医療相談室 直通電話
（平日 9 時～ 17 時） 042-491-1412

＊清瀬もしバナ会は、iACP のもしバナゲームを活用しますが、iACP の活動とは関係がありません。